



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 森六ホールディングス株式会社

コード番号 4249 URL <https://www.moriroku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 栗田 尚

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理、IR担当 経理部長 (氏名) 小岩井 無我 TEL 03 (3403) 6102

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	32,526	△4.5	173	△49.5	581	△18.0	414	-
2023年3月期第1四半期	34,054	3.9	342	△66.0	708	△30.6	△23	-

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,878百万円 (47.4%) 2023年3月期第1四半期 1,953百万円 (15.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	27.29	-
2023年3月期第1四半期	△1.46	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	135,648	72,410	52.5
2023年3月期	131,797	70,683	52.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 71,151百万円 2023年3月期 69,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	47.00	-	53.00	100.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	50.00	-	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2023年3月期 期末配当金の内訳 普通配当47.00円 記念配当6.00円 (創業360周年記念配当)

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	58,500	△15.7	500	-	110	△66.7	△330	-	△21.86
通期	130,000	△8.5	3,500	162.0	2,900	81.7	1,900	41.1	126.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外 1社 （社名）Rainsville Technology, Inc.

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	16,960,000株	2023年3月期	16,960,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,832,019株	2023年3月期	1,718,719株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	15,184,369株	2023年3月期1Q	15,872,950株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における自動車業界は、半導体供給不足が徐々に回復に向かい、自動車生産の正常化が進むことが期待されています。しかしながら、回復には地域差があり、中国では日系自動車メーカーが販売不振に陥るなど、不透明な状況が続いています。為替は引き続き円安基調で推移し、原材料やエネルギー価格の高止まり、人件費の上昇や北米を中心とした労働力不足も継続しています。

なお、化学品の販売価格形成の基準となるナフサ価格は、中国における需要低迷などを背景に、前年同期に比べて低い水準で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、生産性の向上や、需要変動に対応したフレキシブルな生産・供給体制の構築を進め、収益確保に努めるとともに、次世代自動車の安全性、快適性、環境性能の向上に繋がる技術、製品、材料開発を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は32,526百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は173百万円（前年同期比49.5%減）、経常利益は581百万円（前年同期比18.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は414百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失23百万円）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①樹脂加工製品事業

日本や北米では、半導体供給不足が緩和され、生産台数は堅調に推移しました。しかしながら、中国では、ガソリン車に対する自動車取得税減税や新エネルギー車(NEV)に対する販売補助金の打ち切りなどにより、市場全体が低迷し、大幅な生産減となったほか、アジアでも主要顧客の生産調整により減産となった結果、売上高は前年同期を下回りました。

利益面では、生産変動によるロスは縮小したものの、中国における減産影響や、北米を中心に要員確保のための労務費が負担となり、営業損失となりました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は25,943百万円（前年同期比2.0%減）、営業損失は85百万円（前年同期は営業損失129百万円）となりました。

②ケミカル事業

モビリティ分野は、半導体供給不足の緩和により国内向けは堅調に推移しましたが、中国やアジアでは自動車向け原材料の販売が伸び悩みました。スマホ、タブレットなど液晶向け商材も、引き続き低調に推移しました。また、ファインケミカル、ライフサイエンス分野では、ナフサ価格の下落や、顧客の在庫調整の影響等により、売上高は前年同期を下回りました。

利益面では、減収の影響等により、前年同期比で減益となりました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,582百万円（前年同期比13.3%減）、営業利益は323百万円（前年同期比40.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は73,604百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少しました。これは主に、仕掛金が365百万円増加した一方、原材料及び貯蔵品が206百万円、受取手形及び売掛金が193百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は62,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,925百万円増加しました。これは主に、投資有価証券が1,630百万円、建物及び構築物が758百万円、機械装置及び運搬具が720百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、総資産は135,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,851百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は55,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,804百万円増加しました。これは主に、短期借入金が542百万円、支払手形及び買掛金が360百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は7,931百万円となり、前連結会計年度末に比べ319百万円増加しました。これは主に、繰延税金負債が363百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、負債合計は63,237百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,123百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は72,410百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,727百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が393百万円減少した一方、その他有価証券評価差額金が1,094百万円、為替換算調整勘定が1,329百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました第2四半期累計期間および通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,245	18,339
受取手形及び売掛金	33,027	32,834
電子記録債権	1,506	1,597
商品及び製品	6,847	6,938
仕掛品	2,341	2,706
原材料及び貯蔵品	4,894	4,688
その他	6,829	6,511
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	73,679	73,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,998	19,757
機械装置及び運搬具(純額)	11,057	11,778
工具、器具及び備品(純額)	5,911	6,554
土地	5,102	5,216
リース資産(純額)	282	289
建設仮勘定	4,797	4,695
有形固定資産合計	46,148	48,291
無形固定資産	948	940
投資その他の資産		
投資有価証券	8,477	10,107
長期貸付金	269	296
退職給付に係る資産	622	641
繰延税金資産	1,170	1,205
その他	497	563
貸倒引当金	△15	△2
投資その他の資産合計	11,021	12,811
固定資産合計	58,117	62,043
資産合計	131,797	135,648

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,543	19,903
電子記録債務	2,469	2,573
短期借入金	21,451	21,993
1年内返済予定の長期借入金	1,710	1,557
リース債務	249	243
未払法人税等	510	520
その他	7,567	8,514
流動負債合計	53,502	55,306
固定負債		
長期借入金	2,757	2,655
リース債務	407	415
繰延税金負債	3,210	3,574
退職給付に係る負債	387	401
資産除去債務	173	173
その他	673	711
固定負債合計	7,611	7,931
負債合計	61,114	63,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	4,797	4,797
利益剰余金	56,484	56,091
自己株式	△2,626	△2,845
株主資本合計	60,296	59,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,987	4,081
繰延ヘッジ損益	△1	5
為替換算調整勘定	5,617	6,947
退職給付に係る調整累計額	216	205
在外子会社のその他退職後給付調整額	209	227
その他の包括利益累計額合計	9,030	11,467
非支配株主持分	1,356	1,259
純資産合計	70,683	72,410
負債純資産合計	131,797	135,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	34,054	32,526
売上原価	29,339	27,899
売上総利益	4,715	4,626
販売費及び一般管理費	4,372	4,453
営業利益	342	173
営業外収益		
受取利息	50	38
受取配当金	151	121
為替差益	293	528
持分法による投資利益	—	0
その他	62	63
営業外収益合計	557	752
営業外費用		
支払利息	165	316
持分法による投資損失	3	—
その他	21	27
営業外費用合計	191	344
経常利益	708	581
特別利益		
固定資産売却益	10	31
補助金収入	27	26
特別利益合計	38	58
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産除却損	7	8
特別損失合計	10	8
税金等調整前四半期純利益	736	630
法人税等	736	194
四半期純利益	0	435
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	21
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23	414

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	0	435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△540	1,096
繰延ヘッジ損益	—	8
為替換算調整勘定	2,458	1,339
退職給付に係る調整額	△11	△11
在外子会社のその他退職後給付調整額	51	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△8
その他の包括利益合計	1,952	2,442
四半期包括利益	1,953	2,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,929	2,851
非支配株主に係る四半期包括利益	23	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であったRainsville Technology, Inc. は当社の連結子会社であるGreenville Technology, Inc. を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

なお、当該合併の効力発生日において、Greenville Technology, Inc. はMoriroku Technology North America Inc. に商号を変更しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,462	7,592	34,054	—	34,054
セグメント間の内部売上高 または振替高	113	701	815	△815	—
計	26,576	8,293	34,869	△815	34,054
セグメント利益又は損失(△)	△129	540	410	△68	342

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△68百万円には、セグメント間取引消去296百万円および各報告セグメントに帰属しない当社の費用△364百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,943	6,582	32,526	—	32,526
セグメント間の内部売上高 または振替高	96	386	482	△482	—
計	26,040	6,968	33,009	△482	32,526
セグメント利益又は損失(△)	△85	323	238	△65	173

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△65百万円には、セグメント間取引消去307百万円および各報告セグメントに帰属しない当社の費用△372百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。